

# 毎日新聞 千葉県版 2014年11月27日(金)掲載



地域安全マップ教室で真剣なまなざしでマップを作製する子供たち

## 児童が安全マップ作製

茂原・豊田小の4年36人



子供たちが犯罪の危険から身を守る能力を高める「地域安全マップ教室」(「だいじょうぶ」キャンペーン実行委員会主催)が26日、茂原市長尾の豊田小学校(狩野久志校長)で開かれ、4年生36人が参加した。

小宮信夫・立正大教授(犯罪学)から「犯罪起す人を見かけて判

断するのは難しいが、犯罪に遭いやすい危険な場所は景色に注意すればわかる」との講義を受けた生徒たちは、6班に分かれて学校周辺でのフィールドワークに出発。立正大学生たちの指導の下、ポイントとなる地点ごとに危険か安全かを話し合い、写真に記録した。

午後からは各班ごとに協力して、写真にコメントを添えて模造紙に貼り付け「安全マップ」を完成させた。参加した生徒は「入りやすくて、外から見えに

くい場所では犯罪が起きやすいことがわかったので、これからは危険な場所に注意しようと思う」と感想を述べていた。【石郷岡善則】